ひょうごらくのうメモ

平成３０年８月号

おいしいね　兵庫の牛乳　もう一本！

挿絵提供　題名“　うし　”藤園　愛理　１８才
（尼崎市）

目　　次　　（第３５回らくのうひょうごフェスティバル応募作品）

1	生乳動向（累計）
2	行事メモ　30 年 8 月
3	計画生産推進一覧表《30 年度 7 月》
4	用途別販売成績《30 年度 7 月》
5	生乳検査実績速報《30 年度 7 月》
6	淡路家畜市場情報《30 年度 7 月》
7	隣県家畜市場情報《30 年度 7 月》
8	北海道産牛価格情勢《30 年度 7 月》
9	北海道乳牛産地情報《30 年度 7 月》
10	牛群成績平均情報《30 年度 7 月》
11	乳用牛改良情報《30 年度 7 月》
12	輸入粗飼料の情勢《30 年度 7 月》
13	CRI 講習会の案内

発行：兵庫県酪農農業協同組合

酪　農　メ　モ

平成３０年８月
兵 庫 県 酪 農 協

報告
１．生乳生産量の動き（全国）・・・（平成３０年７月・牛乳乳製品統計）

	生乳生産量（千トン）	対前年比（％）
平成３０年　４月	６２３．８	９８．８
平成３０年　５月	６４７．９	９９．５
平成３０年　６月	６２０．９	９８．９
平成３０年　７月	６１６．５	９９．０
平成３０年　８月		
平成３０年　９月		
平成３０年１０月		
平成３０年１１月		
平成３０年１２月		
平成３１年　１月		
平成３１年　２月		
平成３１年　３月		
平成３０年度累計	２５０９．０	９９．１

２．生乳計画生産推進の状況（兵庫県酪協扱い分・公共施設を除く）
（平成３０年７月・前年より２７７０．２トンの減、計画生産目標数量４，０７０トンに対し９４．４％で推移）

	計画生産対象数量（kg）	対前年比（%）	対前々年比（%）	戸数（戸）
平成３０年　４月	４，４３０，０５８	６１．７	６０．２	２１１
平成３０年　５月	４，４７５，９５１	６０．８	５９．９	２０９
平成３０年　６月	４，０７２，７４８	５９．１	５８．７	２０８
平成３０年　７月	３，８４１，６０２	５８．１	５６．１	２０８
平成３０年　８月				
平成３０年　９月				
平成３０年１０月				
平成３０年１１月				
平成３０年１２月				
平成３１年　１月				
平成３１年　２月				
平成３１年　３月				
平成３０年度累計	１６，８２０，３５９	６０．０	５８．８	２０８

３．行事メモ　＜平成３０年７月・８月＞

◆ ７月２４日　兵庫県牛乳普及協会総会・ブランド協議会（楠公会館）

牛乳・乳製品の県産県消費推進を掲げ生産者団体、乳業者団体が一体となって消費拡大事業を展開。また、ロゴマークを使用し県産牛乳のＰＲを推進しています。今回第38回総会・ブランド協議会を開催し、29年度事業報告・30年度事業計画を協議し、引き続きイベントにおける県産牛乳の普及・消費拡大ＰＲを進め

ることを決定しました。

◆兵庫県産牛乳ＰＲロゴマーク

４．行事予定＜平成３０年８月・９月＞

８月２０日　平成30年度淡路自衛防疫推進協議会総会
２１日～２２日　酪農共済推進巡回（本州側）
３０日　コンプライアンス研修会
９月　８日　洲本市畜産共進会（五色健康村Ｇ）
１０日　ＣＲＩ講習会　（西神文化センター201号）
２３日　南あわじ市『食まつり』畜産共進会（賀集スポーツセンター）

● ９月精液配布コース予定日
４日丹波コース　１１日但馬コース　１２日淡路コース　２５日西播コース

●１０月精液配布コース予定日
２日東播コース　９日丹波コース　１０日淡路コース　１６日但馬コース
３０日西播コース

平成30年度7月分計画生産推進一覧表

（単位:kg, %）

地区名	7月分 生乳生産乳量	前年対比	今年度累計	前年対比	月別	総受託乳量	前年対比
阪神地区	638,756.0	43.1	2,707,578.0	44.1	4月	4,430,058.0	61.7
播州地区	1,066,987.0	42.6	4,631,594.0	44.0	5月	4,475,951.0	60.8
丹但地区	371,003.0	55.2	1,619,739.0	57.0	6月	4,072,748.0	59.1
淡路地区	1,764,856.0	90.4	7,861,448.0	92.2	第1四半期	12,978,757.0	60.5
					7月	3,841,602.0	58.1
					8月		
					9月		
					第2四半期	3,841,602.0	58.1
					10月		
					11月		
					12月		
					第3四半期	0.0	
					1月		
					2月		
					3月		
					第4四半期	0.0	
合計	3,841,602.0	58.1	16,820,359.0	60.0	合計	16,820,359.0	

公共施設分

地区名	7月分 生乳生産乳量	今年度 累計
阪神地区		
播州地区	17,694.0	83,868.0
丹但地区		
淡路地区	25,544.0	117,962.0
合計	43,238.0	201,830.0

公共施設含む

7月分 総乳量
638,756.0
1,084,681.0
371,003.0
1,790,400.0
3,884,840.0

公共施設含む

今年度 総乳量
2,707,578.0
4,715,462.0
1,619,739.0
7,979,410.0
17,022,189.0

公共施設含む

農家戸数			
H30.04	増減数	H30.7.1	前年対比
27	0	27	60.0%
44	−2	42	61.8%
20	0	20	54.1%
120	−1	119	93.0%
211	−3	208	74.8%

＊戸数参考:「個人別乳量報告に係る廃業者等報告書」

平成30年度7月用途別販売実績（速報）

平 成 30 年 8 月 15 日
一般社団法人 中央酪農会議

1)総受託乳量

指定団体	7月 トン	7月 前年同月比 %	4-7月累計 トン	4-7月累計 前年同期比 %
北海道	333,391	103.2 (103.3)	1,317,825	102.5 (102.7)
青森	5,701	112.4	22,919	111.2
岩手	16,516	100.0	66,215	98.8
宮城	9,325	96.7	38,323	96.9
秋田	2,074	96.1	8,567	97.0
山形	4,917	94.9	20,325	95.2
福島	5,521	95.5	22,447	95.4
東北生乳販連	44,054	99.3	178,797	98.9
茨城	13,338	99.4	56,868	100.5
栃木	26,101	97.3	108,797	98.3
群馬	15,422	91.1	65,263	92.3
埼玉	4,134	91.6	17,940	94.4
千葉	16,393	96.4	69,793	98.2
東京	693	86.9	3,072	90.7
神奈川	2,733	92.1	11,700	94.1
山梨	982	96.7	4,010	100.5
静岡	6,913	95.8	29,514	99.1
関東生乳販連	86,709	95.6	366,957	97.2
新潟	3,506	95.3	14,552	94.2
富山	880	94.7	3,731	96.2
石川	1,562	97.1	6,490	97.9
福井	422	94.3	1,799	95.7
北陸酪連	6,371	95.6	26,572	95.5
長野	7,652	96.8	31,117	98.2
岐阜	2,803	92.0	11,746	93.3
愛知	13,011	92.9	57,816	96.2
三重	4,235	97.2	18,448	100.6
東海酪連	27,700	94.5	119,128	97.1
滋賀	1,366	89.7	5,788	90.3
京都	1,501	96.7	6,454	98.3
大阪	747	96.2	3,163	97.3
兵庫	5,931	89.7	25,849	92.2
奈良	1,895	94.1	8,014	96.1
和歌山	362	86.5	1,667	94.2
近畿生乳販連	11,802	91.5	50,936	93.7
鳥取	4,599	102.0	19,107	101.5
島根	5,391	102.1	22,663	103.2
岡山	7,326	103.6	31,406	104.7
広島	3,722	95.2	15,477	96.4
山口	1,251	100.7	5,266	100.4
中国生乳販連	22,290	101.2	93,919	102.0
徳島	2,327	93.4	10,120	95.3
香川	2,611	90.0	11,298	93.2
愛媛	2,001	89.0	8,849	93.6
高知	1,655	99.6	6,965	95.4
四国生乳販連	8,594	92.4	37,232	94.3
福岡	5,961	100.2	25,876	100.2
佐賀	1,112	102.6	4,927	102.6
長崎	2,960	95.3	12,968	94.8
熊本	19,577	102.1	84,820	101.9
大分	5,533	103.1	23,850	101.3
宮崎	6,102	99.4	26,303	99.3
鹿児島	6,747	101.8	29,689	101.8
九州生乳販連	47,992	101.2	208,432	100.8
都府県	255,511	97.3	1,081,972	98.2
合計	588,902	100.5 (100.6)	2,399,797	100.5 (100.6)

2)販売乳量（全乳哺育・緊急余乳を除く）

指定団体	7月 トン	7月 前年同月比 %	4-7月累計 トン	4-7月累計 前年同期比 %
北海道	333,391	103.2	1,317,825	102.5
東北生乳販連	44,054	99.3	178,797	98.9
関東生乳販連	86,709	95.6	366,957	97.2
北陸酪連	6,371	95.6	26,572	95.5
東海酪連	27,700	94.5	119,128	97.1
近畿生乳販連	11,802	91.5	50,936	93.7
中国生乳販連	22,290	101.2	93,919	102.0
四国生乳販連	8,594	92.4	37,232	94.3
九州生乳販連	47,992	101.2	208,432	100.8
都府県	255,511	97.3	1,081,972	98.2
合計	588,902	100.5	2,399,797	100.5

注１）この速報は、キロ（kg）で報告いただいた数量をトンに直して小数点以下を四捨五入した数値となっておりますので、合計値が一致していないことがあります。予めご了承下さい。
注２）総受託乳量の括弧内の前年比は、アウト・イン修正後の前年比
注３）中国は公共の乳量が含まれています。

3)飲用牛乳等向け

指定団体	7月		4-7月累計	
	トン	前年同月比 %	トン	前年同期比 %
北海道	86,010	108.6	291,507	107.7
東北生乳販連	33,148	97.1	131,406	98.7
関東生乳販連	68,834	97.1	284,188	98.6
北陸酪連	6,018	95.4	25,228	95.6
東海酪連	22,636	94.5	97,564	97.1
近畿生乳販連	11,025	91.8	47,460	94.0
中国生乳販連	16,624	103.2	69,283	103.4
四国生乳販連	8,180	92.3	35,465	94.2
九州生乳販連	34,819	101.9	148,187	101.7
都府県	201,284	97.5	838,782	98.8
合計	287,294	100.6	1,130,290	101.0

4)はっ酵乳等向け

指定団体	7月		4-7月累計	
	トン	前年同月比 %	トン	前年同期比 %
北海道	2,049	112.9	7,945	114.3
東北生乳販連	7,428	107.9	30,178	102.6
関東生乳販連	12,626	91.5	50,857	93.2
北陸酪連	279	102.0	1,050	98.8
東海酪連	4,430	96.0	17,451	96.8
近畿生乳販連	730	92.7	3,098	93.1
中国生乳販連	5,180	98.7	20,704	100.4
四国生乳販連	287	98.1	1,259	98.1
九州生乳販連	8,256	99.5	31,560	98.8
都府県	39,216	97.6	156,159	97.5
合計	41,265	98.2	164,104	98.2

5)脱脂粉乳・バター等向け

指定団体	7月		4-7月累計	
	トン	前年同月比 %	トン	前年同期比 %
北海道	102,637	104.0	452,834	101.4
東北生乳販連	2,723	110.4	14,182	94.6
関東生乳販連	3,848	86.2	25,825	91.1
北陸酪連	37	94.4	136	72.2
東海酪連	419	78.8	3,235	99.8
近畿生乳販連	0	−	150	89.3
中国生乳販連	181	68.5	2,454	91.8
四国生乳販連	0	−	0	−
九州生乳販連	2,595	105.7	18,177	99.2
都府県	9,803	95.9	64,160	94.4
合計	112,441	103.2	516,994	100.5

6)液状乳製品向け(生ｸﾘｰﾑ等向け)

指定団体	7月		4-7月累計	
	トン	前年同月比 %	トン	前年同期比 %
北海道	108,079	98.9	430,820	101.6
東北生乳販連	575	90.2	2,314	96.1
関東生乳販連	1,334	90.0	5,828	91.2
北陸酪連	29	76.5	133	73.8
東海酪連	84	124.1	351	113.7
近畿生乳販連	46	48.7	223	58.8
中国生乳販連	270	76.2	1,338	81.3
四国生乳販連	123	85.9	486	91.0
九州生乳販連	2,223	92.2	10,112	97.2
都府県	4,685	89.6	20,785	93.4
合計	112,764	98.4	451,605	101.2

7)チーズ向け

指定団体	7月		4-7月累計	
	トン	前年同月比 %	トン	前年同期比 %
北海道	34,616	101.7	134,719	98.1
東北生乳販連	181	76.7	717	78.8
関東生乳販連	67	116.6	258	105.9
北陸酪連	8	113.9	24	111.0
東海酪連	130	90.4	525	85.5
近畿生乳販連	1	74.9	6	79.4
中国生乳販連	34	101.9	140	104.7
四国生乳販連	4	99.1	22	149.9
九州生乳販連	97	98.2	395	100.7
都府県	523	89.7	2,086	89.3
合計	35,138	101.5	136,805	97.9

8)全乳哺育向け

指定団体	7月		4-7月累計	
	トン	前年同月比 %	トン	前年同期比 %
北海道	0	−	0	−
東北生乳販連	0	−	0	−
関東生乳販連	0	−	0	−
北陸酪連	0	−	0	−
東海酪連	0	−	0	−
近畿生乳販連	0	−	0	−
中国生乳販連	0	−	0	−
四国生乳販連	0	−	0	−
九州生乳販連	0	−	0	−
都府県	0	−	0	−
合計	0	−	0	−

注１）この速報は、キロ（kg）で報告いただいた数量をトンに直して小数点以下を四捨五入した数値となっておりますので、合計値が一致していないことがあります。予めご了承下さい。

注２）北海道の液状乳製品向け(生ｸﾘｰﾑ等向け)には、その他向けが含まれています。

生乳検査実績速報

＊＊平成30年7月分＊＊

全組合におけるバルク検査月間平均値は、乳脂肪率3.79%（前年同月-0.01%）、乳蛋白質率3.20%（前年同月比-0.01%）、無脂固形分率8.62%（前年同月比-0.01%）、体細胞数33.4万/ml（前年同月比+2.3万/ml）、細菌数9.0万/ml（前年同月比-0.7万/ml）であった。

地域別バルク検査月間平均値並びに地域別・組合別の乳質改善達成状況を別表に示す。

（単位：戸・%・万/ml）

地域名	検査戸数		乳脂肪率		乳蛋白質率		無脂固形分率		体細胞数		細菌数	
	当月	前月	当月	前月	当月	前月	当月	前月	当月	前月	当月	前月
阪神	27	27	3.79	3.80	3.18	3.21	8.59	8.61	37.4	34.4	13.4	10.0
播州	42	42	3.81	3.88	3.23	3.27	8.63	8.66	36.8	35.5	18.1	6.2
丹但	20	20	3.73	3.70	3.30	3.38	8.73	8.83	39.3	34.8	3.8	4.1
淡路	117	117	3.79	3.81	3.19	3.23	8.61	8.65	30.3	30.9	5.6	4.7
県平均	206	206	3.79	3.81	3.20	3.25	8.62	8.67	33.4	32.7	9.0	5.7

『地域別乳質改善目標達成割合』

（単位：件・%）

地域名	検査延べ件数	乳脂肪率3.7%以上	乳蛋白質率3.2%以上	無脂固形分率8.7%以上	体細胞数25万未満	細菌数10万未満
阪神	81	67.9	48.1	22.2	32.1	74.1
播州	126	57.9	45.2	23.8	35.7	85.7
丹但	60	55.0	70.0	56.7	46.7	91.7
淡路	351	63.0	45.9	37.0	49.6	87.7
県平均	618	61.8	48.4	34.3	44.2	85.9

『組合別バルク検査平均値及び目標達成割合』

（単位：件・%・万/ml）

組合名	検査延べ件数	乳脂肪率		乳蛋白質率		無脂固形分率		体細胞数		細菌数	
		検査成績	3.70%以上	検査成績	3.20%以上	検査成績	8.70%以上	検査成績	25万未満	検査成績	10万未満
兵庫六甲	81	3.79	67.9	3.18	48.1	8.59	22.2	37.4	32.1	13.4	74.1
みのり	27	3.70	44.4	3.18	44.4	8.57	18.5	43.6	33.3	63.7	81.5
東播	93	3.79	60.2	3.21	44.1	8.62	23.7	34.9	37.6	5.3	89.2
西播	6	4.64	83.3	3.69	66.7	9.00	50.0	34.8	16.7	11.5	50.0
北但	3	4.14	100.0	3.31	100.0	8.75	100.0	67.4	0.0	4.6	100.0
兵庫丹但	51	3.69	49.0	3.30	70.6	8.74	56.9	39.5	47.1	4.1	90.2
たじま	6	3.85	83.3	3.27	50.0	8.67	33.3	23.6	66.7	1.2	100.0
淡路日の出	57	3.71	38.6	3.12	29.8	8.56	24.6	31.0	45.6	5.1	93.0
淡路島	294	3.80	67.7	3.20	49.0	8.62	39.5	30.2	50.3	5.7	86.7
県平均	618	3.79	61.8	3.20	48.4	8.62	34.3	33.4	44.2	9.0	85.9

北海道産牛価格情勢

（平成30年8版）

ホクレン家畜市場情報　（初妊牛ホル）　30年7月市場開催結果

家畜市場名	開催日	平均金額	前年同月比（参考）		
ホクレン南北海道市場	6 日	891,000 円	733,000 円	158,000	121.6 %
ホクレン釧路市場	11 日	927,000 円	796,000 円	131,000	116.5 %
ホクレン根室市場	12 日	926,000 円	819,000 円	107,000	113.1 %
ホクレン十勝市場	18 日	962,000 円	903,000 円	59,000	106.5 %
ホクレン北見市場	19 日	877,000 円	840,000 円	37,000	104.4 %
ホクレン豊富市場	20 日	898,000 円	876,000 円	22,000	102.5 %
平　　均		928,000 円	863,000 円	65,000	107.5 %

8月ホクレン市場日程と参考情報

開催家畜市場名	開催日	前月	昨年
ホクレン南北海道市場	3 日	891,000 円	782,000 円
ホクレン豊富市場	17 日	898,000 円	850,000 円
ホクレン釧路市場	22 日	927,000 円	776,000 円
ホクレン根室市場	23 日	926,000 円	802,000 円
ホクレン十勝市場	29 日	962,000 円	861,000 円
ホクレン北見市場	30 日	877,000 円	816,000 円
平　　均		928,000 円	826,000 円

9月ホクレン市場日程と参考情報

開催家畜市場名	開催日	昨年
ホクレン南北海道市場	7 日	790,000 円
ホクレン十勝市場	11 日	874,000 円
ホクレン釧路市場	12 日	820,000 円
ホクレン根室市場	13 日	852,000 円
ホクレン豊富市場	14 日	841,000 円
ホクレン北見市場	26 日	877,000 円
ホクレン十勝市場	27 日	882,000 円
平　　均		864,000 円

兵庫県酪農協　購買課

北 海 道 乳 牛 産 地 情 報

（平成３０年８月１日現在）

事務所	畜　種	相場（万円）	価格状況	管　内　状　況
札幌管内	育成牛(10-12月令)	４８～５８	やや弱含み	札幌管内の７月中旬までの生乳生産量前年比は、函館管内月計 102.6%、累計で 101.4%、苫小牧管内月計で 102.8%、累計で 101.3%の実績となっております。 ８月の初妊牛動向といたしまして、10月～11月上旬分娩腹が中心となります。７月の同地域の乳牛市場の平均は上がっていますが、都府県の猛暑が８月も続き、引き合いが弱くなることが予想されるため、庭先購買価格は横這いで推移するものと思われます。乳量成績や体型審査成績を持った高能力牛が出てくる地域ですので、ご希望があれば、お問い合わせください。育成牛は対象月齢のものが来年の夏産みとなってきますので、やや弱含みで推移するものと思われます。
	初妊牛	７８～８８	横這い	
	経産牛	４５～５０	横這い	
釧路管内	育成牛(10-12月令)	６０～７０	横這い	根釧管内の７月中旬までの生乳生産量前年比は、釧路管内月計で 101.6%、累計で 101.4%、中標津管内月計で 102.1%、累計で 101.8%の実績となっております。 ８月の初妊牛動向といたしまして、11月分娩腹が中心となります。７月の管内乳牛市場は導入需要が旺盛だった事もあり据置～上げの結果となりました。引続き都府県のメガファームの導入が活発な事、道内においてもクラスター事業を利用した牛舎が完成し規模拡大農家の活発な導入が見込まれる事から相場は強含みで推移するものと思われます。また、都府県の猛暑の影響、道内の１番牧草の作況の悪さが今後、乳牛の取引状況にどんな影響を及ぼすか注視が必要となります。
	初妊牛	９０～９６	強含み	
	経産牛	６０～７０	横這い	
帯広管内	育成牛(10-12月令)	５０～６０	弱含み	帯広管内の７月中旬までの生乳生産量前年比は、帯広管内月計で 105.6%、累計で 104.6%の実績となっております。 ８月の初妊牛動向といたしまして、10月～11月分娩腹が中心となります。７月の同地域の乳牛市場が横這いで推移し、また８月の市場が下旬まで開催されないことから、庭先購買価格も横這いで推移するものと思われます。７月は高値で動いた雌雄選別腹も落ち着きを取り戻してきています。育成は対象月齢の牛が来年の夏産みとなってきますので、弱含みで推移するものと思われます。今夏の都府県の猛暑が初妊牛の導入にどのような影響を及ぼすのか、日々状況が変化することが予想されますので、近況につきましては、都度お問い合わせ頂きたくお願い申し上げます。
	初妊牛	８５～９５	横這い	
	経産牛	５０～６０	横這い	
道北管内	育成牛(10-12月令)	５０～６０	横這い	道北管内の７月中旬までの生乳生産量前年比は、稚内管内月計で 101.6%、累計で 100.8%、北見管内では月計で 104.7%、累計で 102.3%の実績となっております。 ８月の初妊牛動向といたしまして、10月～11月分娩が中心となります。先月も導入需要が活発だったこともあり、夏時期の分娩でありながら相場は大きくは下がりませんでした。今後分娩時期が涼しくなるため価格が大きく下がるとは考えにくく、相場も横這いのまま推移するものと思われます。先月引き合いが強かった雌雄選別腹は、少し落ち着きを取り戻し、F1腹と同程度の価格帯になると予想されます。
	初妊牛	８３～８８	横這い	
	経産牛	５０～６０	横這い	
道内総括	育成牛(10-12月令)	５５～６５	横這い	道内の７月中旬までの生乳生産量前年比は 103.5%、累計で 102.5%の実績となっております。 ８月の初妊牛動向といたしまして、10月～11月分娩腹が中心となります。道内における生乳生産は前年を大きく上回って推移しており、今後についても規模拡大農家を中心に生乳生産意欲が旺盛な状況が続くものと思われます。また、道内の牧草の収穫状況ですが、道内全域で６月からの長雨の影響を受け、１番草の刈取り時期が大幅に遅れており、品質低下も心配されております。初妊牛価格につきましては、今年度も昨年度同様に夏場に取引される初妊牛価格は下がらなかった為、秋口の取引においても大幅な変動はないものと思われます。今後の初妊牛の資源状況としては、全体的に増えてくるものと予想されます。
	初妊牛	８５～９５	横這い	
	経産牛	５５～６５	横這い	

＊上記相場は、血統登録牛（中クラス）の庭先選畜購買による予想相場です。

庭先選畜購買のため、市場購買とは異なります。

全国酪農業協同組合連合会（全酪連）

札　幌　支　所

☎011-241-0765

毎度、乳牛購買事業に大変ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。
乳牛の導入計画がありましたら、最寄りの支所へご一報下さい。
担当者がお伺いし、最近の状況をご説明し、納得いただけるよう購買のお手伝いを致します。
また、購買後の輸送・事故処理は責任を持って最寄りの支所と札幌支所がお世話申し上げます。

《各事務所電話番号》
釧路事務所　☎(0154)52-1232
帯広事務所　☎(0155)37-6051
道北事務所　☎(01654)2-2368

淡路家畜市場情報

平成30年7月9日

			頭数(頭)	平均価格(円)	最高価格(円)	最低価格(円)	平均体重(kg)	キロ単価(円)	平均日令(日)	平均価格の増減	対比
F1 スモール	メス	今回	9	302,280	366,120	15,120			56		
		前回	4	307,260	344,520	282,960			54	−4,980	−1.6%
		前年	14	298,389	333,720	191,160			56	3,891	1.3%
	オス	今回	11	321,447	380,160	198,720			51		
		前回	11	337,942	379,080	184,680			56	−16,495	−4.9%
		前年	10	342,684	392,040	284,040			55	−21,237	−6.2%
	去勢	今回									
		前回									
		前年									

			頭数(頭)	平均価格(円)	最高価格(円)	最低価格(円)	平均体重(kg)	キロ単価(円)	平均日令(日)	平均価格の増減	対比
ホルス スモール	メス	今回									
		前回									
		前年									
	オス	今回	9	157,680	208,440	44,280			51		
		前回	5	144,720	174,960	110,160			44	12,960	9.0%
		前年	5	107,568	162,000	46,440			53	50,112	46.6%
	去勢	今回									
		前回									
		前年									

＊前回は平成30年6月25日・前年は平成29年7月9日

平成30年7月25日

			頭数(頭)	平均価格(円)	最高価格(円)	最低価格(円)	平均体重(kg)	キロ単価(円)	平均日令(日)	平均価格の増減	対比
F1 スモール	メス	今回	7	327,086	358,560	270,000			55		
		前回	9	302,280	366,120	15,120			56	24,806	8.2%
		前年	12	282,240	342,360	151,200			55	44,846	15.9%
	オス	今回	10	347,760	390,960	293,760			54		
		前回	11	321,447	380,160	198,720			51	26,313	8.2%
		前年	10	281,556	384,480	70,200			56	66,204	23.5%
	去勢	今回									
		前回									
		前年									

			頭数(頭)	平均価格(円)	最高価格(円)	最低価格(円)	平均体重(kg)	キロ単価(円)	平均日令(日)	平均価格の増減	対比
ホルス スモール	メス	今回									
		前回									
		前年									
	オス	今回	5	131,112	203,040	35,640			50		
		前回	9	157,680	208,440	44,280			51	−26,568	−16.8%
		前年	5	78,408	111,240	11,880			53	52,704	67.2%
	去勢	今回									
		前回									
		前年									

＊前回は平成30年7月9日・前年は平成29年7月25日

隣県家畜市場情報

乳用種（雄のみ）

年	月	岡山総合		広島・三次		徳島畜産センター		平均・合計（全国）	
		平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数
27年次		64,443	1,030	65,296	2,004	77,520	400	75,102	121,664
28年次		96,767	932	106,895	1,793	102,268	325	109,068	116,177
29年次		92,552	987	102,384	1,786	83,819	313	109,647	110,536
29	1	78,093	104	92,327	199	74,455	33	84,190	9,183
	2	85,097	97	92,766	123	64,548	30	98,315	8,483
	3	91,912	77	95,857	172	66,350	23	110,799	9,400
	4	101,196	70	112,040	143	100,552	29	116,828	8,803
	5	104,079	84	130,527	113	109,550	23	121,329	8,616
	6	108,921	34	135,761	115	136,234	14	137,632	8,181
	7	120,508	55	124,506	134	104,040	15	118,899	8,817
	8	107,178	67	107,911	158	115,020	18	97,028	10,455
	9	84,925	82	90,397	144	60,619	31	92,868	9,800
	10	86,820	108	92,828	165	78,259	26	105,133	10,135
	11	88,800	90	86,446	188	88,221	35	118,793	9,574
	12	85,919	119	90,025	132	65,010	36	120,568	9,089
30	1	86,606	110	107,563	99	62,640	18	124,526	9,214
	2	98,131	87	102,261	118	85,888	19	137,691	8,068
	3	117,531	80	123,281	141	98,451	19	158,390	8,423
	4	126,865	62	146,520	105	121,440	27	161,422	8,179
	5	146,442	74	159,470	105	167,091	14	156,889	8,845
	6	131,252	34	168,090	72	137,880	12	151,137	8,011
	7								
	8								
	9								
	10								
	11								
	12								

交雑種・乳

年	月	岡山総合		広島・三次		徳島畜産センター		平均・合計（全国）	
		平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数
27年次		192,996	3,604	190,382	5,143	246,738	3,004	197,323	166,751
28年次		257,790	3,644	254,962	5,297	311,352	3,011	255,387	166,606
29年次		266,574	3,424	261,231	5,066	310,015	2,848	260,017	156,761
29	1	253,129	394	260,011	442	317,228	325	258,295	14,423
	2	276,805	289	263,012	402	300,487	293	269,209	12,744
	3	271,717	302	263,300	482	298,601	251	277,565	13,566
	4	292,111	262	283,986	398	344,232	270	298,087	12,594
	5	306,824	291	305,832	327	338,071	239	297,879	13,124
	6	325,804	200	320,555	415	357,072	180	296,850	11,689
	7	301,414	207	296,951	349	362,240	162	282,085	11,588
	8	292,081	283	283,966	528	339,607	173	248,789	13,226
	9	254,365	260	254,589	393	279,054	240	230,024	12,678
	10	230,264	295	209,166	391	271,433	205	222,022	14,025
	11	217,210	266	201,102	487	268,621	242	227,183	13,614
	12	221,570	375	213,329	452	275,218	268	224,106	13,490
30	1	224,052	410	214,641	317	283,535	244	220,702	13,957
	2	226,646	380	215,661	401	279,711	244	228,402	12,269
	3	245,195	347	227,786	515	269,499	237	247,329	13,096
	4	263,669	284	260,348	364	315,485	199	271,257	12,147
	5	291,953	275	282,132	330	309,012	90	277,110	12,594
	6	312,657	187	310,953	296	361,873	311	291,022	10,865
	7								
	8								
	9								
	10								
	11								
	12								

※　生後60日齢までの情報になっておりますので、ご注意下さい。

牛群成績平均情報１

平成 30年 04月分

兵庫

全 119 戸中 96 戸集計

年間累計	kg （1戸平均）	千円 （1戸平均）	生乳100kgに要した濃厚飼料費
乳量	38,496,139 (401,001)	4,207,635 (43,830)	2165 円
	前年対比 100 %	前年対比 100 %	
濃厚飼料	15,984,599 (166,506)	833,358 (8,681)	乳飼比
	前年対比 101 %	前年対比 100 %	20 %
	乳代 － 濃厚飼料費	3,374,277 (35,149)	飼料効果
		前年対比 100 %	2.4

検定日成績（1戸平均）	1日成績 検定乳量	出荷乳量	濃厚飼料給与量	乳代	濃厚飼料費	1頭1日当たり平均 乳脂率	蛋白質率	無脂固形分率	1kg単価 乳価	濃厚飼料
	kg	kg	kg	円	円	%	%	%	円	円
今月	1168	1157	467	127983	24973	4.00	3.32	8.79	112	56
前月	1144	1141	464	124780	24294	4.06	3.36	8.84	112	55
3カ月	1103	1098	453	120508	23718	4.09	3.40	8.84	112	55
過去1ヵ年	1098	1086	455	120117	23706	3.98	3.33	8.78	112	55

前回からの日数	検定から発行までの日数
平均 30 日	平均 15.0 日

移動13ヵ月成績 検定月	牛群構成 戸数 戸	経産牛 頭	搾乳牛 頭	搾乳牛率 %	搾乳日数 日	分娩 頭数 頭	初産 頭	雌 頭	検定乳量 出荷乳量×100 %	検定日成績／搾乳牛1頭平均 標準乳量 kg	乳量 kg	乳脂率 %	蛋白質率 %	無脂固形分率 %	MUN mg/dl	P/F比	濃厚飼料給与量 kg
4	114	5142 (45.1)	4532 (39.8)	90	226	254 (2.6)	102 (1.1)	129 (1.3)	102	33.2	29.1	3.98	3.32	8.78	11.5	0.83	11.9
5	113	5173 (45.8)	4496 (39.8)	90	232	237 (2.5)	103 (1.1)	121 (1.3)	101	33.4	28.9	3.89	3.29	8.75	11.3	0.85	11.8
6	113	5106 (45.2)	4371 (38.7)	89	243	228 (2.4)	82 (0.9)	125 (1.3)	101	33.4	28.6	3.90	3.30	8.77	11.5	0.85	11.8
7	112	5111 (45.6)	4246 (37.9)	87	245	316 (3.3)	92 (1.0)	151 (1.6)	102	32.6	27.4	3.87	3.22	8.67	11.9	0.83	11.7
8	114	5177 (45.4)	4295 (37.7)	85	241	349 (3.6)	105 (1.1)	184 (1.9)	102	32.6	27.2	3.85	3.22	8.65	11.3	0.84	11.6
9	112	5111 (45.6)	4222 (37.7)	85	234	402 (4.2)	108 (1.1)	206 (2.1)	102	34.0	28.4	3.89	3.32	8.77	10.3	0.85	11.8
10	110	4974 (45.2)	4100 (37.3)	85	229	366 (3.8)	118 (1.2)	189 (2.0)	101	33.7	28.3	4.00	3.38	8.82	10.7	0.85	13.4
11	112	5060 (45.2)	4168 (37.2)	86	226	353 (3.7)	87 (0.9)	183 (1.9)	102	33.7	28.5	4.07	3.43	8.87	11.0	0.84	11.7
12	110	4939 (44.9)	4119 (37.4)	86	224	392 (4.1)	124 (1.3)	201 (2.1)	101	33.5	28.7	4.13	3.45	8.86	11.5	0.84	11.8
1	108	4922 (45.6)	4120 (38.1)	85	224	345 (3.6)	105 (1.1)	182 (1.9)	101	33.0	28.5	4.10	3.42	8.83	11.9	0.83	11.7
2	107	4741 (44.3)	4067 (38.0)	87	227	272 (2.8)	74 (0.8)	129 (1.3)	102	32.7	28.3	4.11	3.41	8.86	12.4	0.83	11.8
3	106	4843 (45.7)	4206 (39.7)	89	230	287 (3.0)	87 (0.9)	141 (1.5)	102	33.1	28.8	4.06	3.36	8.84	11.7	0.83	11.7
4	96	4380 (45.6)	3858 (40.2)	91	238	132 (1.4)	57 (0.6)	62 (0.6)	101	33.4	29.1	4.00	3.32	8.79	11.5	0.83	11.6
平均・計	96	4193 (43.7)	3719 (38.7)	87	232	3801 (39.6)	1187 (12.4)	1941 (20.2)	102	33.3	28.5	3.98	3.33	8.78	11.2	0.84	11.8
前年成績	95	4230 (44.5)	3735 (39.3)	87	228	3804 (39.6)	1182 (12.3)	1880 (19.6)	102	33.0	28.3	3.96	3.34	8.78	10.9	0.84	11.6

()内は、１戸平均。

検定日乳量階層	頭数 頭	1産 MAX:29.6 DAY:74 MID:28.4 LP:96.9 21日以下 %	22日～ %	50日～ %	100日～ %	200日～ %	300日以上 %	2産以上 MAX:36.2 DAY:27 MID:30.8 LP:91.6 21日以下 %	22日～ %	50日～ %	100日～ %	200日～ %	300日以上 %
kg													
55以上	43							.1	.3	.4	.3		
50	81							.1	.5	1.0	.4	.1	
45	163		.1	.1	.2			.3	.8	1.7	1.0	.2	
40	288		.1	.4	.5	.2	.1	.2	.7	1.8	2.6	.8	.1
35	463	.1	.4	.8	1.0	.6	.3	.4	.8	1.7	3.6	2.1	.3
30	711	.3	.4	1.2	2.7	1.7	.8	.4	.5	1.4	4.8	3.2	.9
25	723	.4	.6	.8	2.4	2.4	1.7	.3	.2	.7	3.1	4.5	1.7
20	661	.2	.1	.5	1.3	2.1	3.1	.1	.1	.3	1.9	3.6	3.9
15	404	.1	.1	.1	.4	.5	2.1	.1	.1	.1	.8	1.8	4.2
15未満	322	.1	.1		.2	.2	1.6	.1	.1	.1	.5	1.1	4.3
頭数		41	70	149	337	299	371	77	161	352	734	671	597
標準乳量		33.0	33.1	33.0	33.8	35.3	33.2	32.4	34.2	33.4	32.8	34.3	32.3
平均乳量		27.2	30.9	31.6	29.8	27.3	21.8	35.3	41.7	40.3	33.1	27.4	19.3
乳脂率 %		4.29	3.81	3.70	3.85	4.08	4.37	4.49	4.13	3.69	3.86	4.03	4.33
蛋白質率 %		3.29	2.98	3.02	3.26	3.46	3.72	3.29	2.92	3.00	3.23	3.48	3.79
無脂固形分率 %		8.69	8.59	8.61	8.85	9.02	9.22	8.72	8.43	8.49	8.68	8.87	9.10
MUN mg/dl		9.9	11.1	11.7	11.8	11.9	11.6	9.3	10.6	11.2	11.9	11.8	11.7
濃厚飼料給与量		11.5	11.8	11.6	11.8	11.4	10.7	12.0	12.4	12.3	12.1	11.9	10.7
BC管理		3.00	3.00	2.71	2.69	3.13	2.91	3.00	3.00	2.62	2.79	3.00	3.44

参考情報[MAX:ピーク時乳量(kg), DAY:泌乳ピークに要した日数(日), MID:分娩後160日目乳量(kg), LP:泌乳持続性]

年間305日成績	頭数 頭	240～305日間 成績 乳量 kg	乳脂率 %	蛋白質率 %	無脂固形分率 %	補正乳量 kg
1産	1188	8522	3.87	3.26	8.79	10239
2産	857	9678	3.91	3.29	8.75	10589
3産以上	1067	9860	3.91	3.22	8.63	10030
平均又は合計	3112	9299	3.90	3.25	8.72	10264

	直近体重 頭数 頭	平均 kg	BC管理 頭数 頭	平均
未経産	1	700		
泌乳 1産	777	611	65	2.91
泌乳 2産	608	641	47	2.91
泌乳 3産以上	884	660	71	3.01
乾乳	61	670	3	3.00

搾乳管理		
ユニット	4.9 台	
1回平均	90 分	
1頭平均	12 分	
	時間	乳量
1回目	48 %	47 %
2回目	52 %	53 %

搾乳管理は、２回搾乳農家で集計

検定日牛群構成	頭数 頭	未経産牛 歳月	1産 歳月	2産 歳月	3産 歳月	4産 歳月	5産以上 歳月	経産牛平均 歳月	除籍牛平均 歳月
年齢		1-6	2-9	3-11	5-1	6-4	8-4	4-6	5-5
比率 %	4382	-	33	26	19	11	11	2.5 産次	3.1 産次
(未経産牛含む)	(4746)	(8)	(30)	(24)	(18)	(10)	(10)		

発行：(一社)家畜改良事業団

牛群成績平均情報２

平成 30年 04月分

兵庫

全 119 戸中 96 戸集計

移動13ヵ月成績 検定月	授精状況 授精	肉牛交配率	授精回数 平均	授精回数 3回以上	初回授精 受胎率	初回授精 開始	未経産授精開始	経産JMR	管理状況(除籍牛を含む) 妊娠	空胎日数 平均	空胎日数 59以下	空胎日数 60～	空胎日数 85～	空胎日数 115～	空胎日数 145以上	乾乳日数 平均	乾乳日数 39以下	乾乳日数 40～69	乾乳日数 70以上	乾乳日数 90以上
	頭	%	回	%	%	日	月齢	日	頭	日	%	%	%	%	%	日	%	%	%	%
4	841 (8.8)	24	2.8	40	36	80	14.5	54	2447 (21.5)	175	7	16	15	13	49	61	12	66	22	10
5	832 (8.7)	26	2.7	39	32	83	15.4	52	2643 (23.4)	173	7	17	16	13	47	61	12	66	22	10
6	834 (8.7)	24	2.8	42	32	83	14.6	53	2740 (24.2)	173	7	17	16	13	48	61	12	66	22	10
7	704 (7.3)	28	2.9	45	26	83	13.9	54	2816 (25.1)	172	7	16	16	13	47	60	13	65	21	10
8	672 (7.0)	29	2.9	46	26	84	14.8	51	2820 (24.7)	174	7	16	16	13	48	60	14	65	21	10
9	935 (9.7)	29	2.9	45	30	86	13.8	50	2691 (24.0)	175	7	15	16	14	49	59	15	66	20	9
10	919 (9.6)	27	2.9	45	34	75	13.4	58	2333 (21.2)	175	7	15	16	14	49	59	15	66	19	9
11	914 (9.5)	26	2.9	45	46	86	14.1	60	2211 (19.7)	180	7	13	15	13	51	58	15	66	19	9
12	988 (10.3)	28	2.8	41	42	81	13.8	60	2139 (19.4)	184	7	12	14	12	54	58	15	67	18	8
1	907 (9.4)	28	2.8	40	43	85	13.5	56	2196 (20.3)	185	7	13	14	12	53	58	15	67	19	9
2	873 (9.1)	26	2.8	41	20	82	13.5	59	2119 (19.8)	185	8	15	13	12	53	58	16	66	18	9
3	930 (9.7)	27	2.8	41	3	81	13.7	59	2238 (21.1)	180	8	16	14	11	50	58	15	66	19	9
4	431 (4.5)	28	2.8	42	0	84	13.0	57	2128 (22.2)	174	8	17	15	12	48	59	15	66	19	9
平均・計	10349 (107.8)	27	2.8	18	34	82	14.1	55	2151 (22.4)	175	7	15	15	13	49	59	14	66	20	9
前年成績	9990 (104.1)	28	2.7	19	35	84	14.2	55	2134 (22.5)	174	7	16	15	13	50	62	12	64	24	11

()内は、１戸平均。

項目別種雄牛成績	種雄牛区分別雌牛頭数 頭数	成績あり	海外種雄牛	後代検定	その他	種雄牛情報 総合指数(NTP)	E 乳量	B 乳脂率	V 蛋白質率	V 無脂固形分率	乳代効果
	頭	%	%	%	%		Kg	%	%	%	円
授精・妊娠	3580	47	19	6	47	+2286	+1003	+0.10	+0.06	+0.10	+110601
12ヵ月未満(生産雌牛)	676	63	25	8	29	+1909	+830	+0.07	+0.07	+0.10	+94113
未経産	364	75	38	18	7	+1479	+602	+0.07	+0.05	+0.05	+70106
1産	1445	76	28	5	19	+1120	+602	-0.03	0.00	-0.04	+59310
2産以上	2937	76	28		24	+831	+459	-0.03	0.00		+45437

注) 乳代効果と無脂固形分率には海外種雄牛は含まれておりません

初産分娩月齢	21以下	22～	24～	26～	28～	30以上	初産分娩月齢(予定)	合計頭数
	6 %	40 %	29 %	14 %	5 %	5 %	25 (24)	1114 頭

分娩間隔	頭数	365日未満	365日～	395日～	425日～	455日以上	分娩間隔(予定)
	頭	%	%	%	%	%	日 日
2産	900	26	16	14	11	34	445 (453)
3産	679	26	16	13	11	34	444 (448)
4産以上	746	19	19	15	10	37	449 (455)
平均又は合計	2325	24	17	14	11	35	446 (453)

月別分娩予定頭数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	合計頭数
頭数(初産)	4 % (5)	7 % (9)	11 % (15)	15 % (18)	18 % (16)	17 % (15)	19 % (15)	9 % (6)	2029 頭 (166)

月	経産牛1頭当たり年間成績 乳量	乳脂率	蛋白質率	無脂固形分率	P/F比
	kg	%	%	%	
4	8957	3.92	3.35	8.80	0.86
5	9082	3.98	3.35	8.79	0.84
6	9107	3.97	3.35	8.79	0.84
7	9106	3.98	3.35	8.79	0.84
8	8989	3.93	3.35	8.79	0.85
9	9011	3.93	3.35	8.79	0.85
10	9148	3.98	3.35	8.79	0.84
11	9164	3.98	3.35	8.80	0.84
12	9168	3.99	3.35	8.80	0.84
1	9160	3.98	3.35	8.79	0.84
2	9140	4.00	3.35	8.79	0.84
3	9138	4.00	3.35	8.80	0.84

授精報告				
未経産	236 頭	80 %		
経産	3361 頭	77 %		

頭数分布		頭数	分娩後日数 59日以下	60～79日	80～99日	100～119日	120日以上
		頭	%	%	%	%	%
今月の未授精牛		1019	52	13	9	5	22
初回授精	前月	343	22	31	25	10	11
初回授精	3ヵ月	951	22	33	21	10	14
初回授精	過去1ヵ年	2866	24	32	19	10	14

繁殖に供さない牛 9 頭

年間追加除籍牛	追加 頭数	追加比率	除籍 乳器障害(乳房炎)	繁殖障害	肢蹄故障	消化器病	起立不能	疾病計	低能力	死亡	乳用売却	計	除籍率
	頭	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	頭	%
未経産	402	8.5	6.5 ( )	3.2	3.2		6.5	12.9		12.9	64.5	31	1
1産	1040	21.9	14.6 (4.6)	5.4	3.8	4.2	9.6	19.2	20.0	11.3	29.6	240	5
2産	196	4.1	16.5 (5.9)	10.3	3.3	2.6	10.3	18.7	15.4	9.5	29.3	273	6
3産以上	228	4.8	14.1 (6.6)	9.7	4.0	5.8	7.3	18.5	16.6	11.2	29.0	730	15
除籍日までの年齢(歳-月)			5-1 (5-3)	6-2	5-5	5-6	4-11	5-2	5-6	5-4	5-6		
除籍日までの分娩後日数			259 (271)	479	271	265	267	266	399	297	365		

注) 除籍牛平均には乳用売却は含まれておりません

発行：(一社)家畜改良事業団

乳用牛改良情報

兵庫県酪農農業協同組合
生産指導部　指導購買課
《2018-8》

【国内精液評価成績】

総合指数順（ＮＴＰ）

NTP順位	略号	種雄牛名号	長命連産効果	乳代効果	総合指数	生産能力のEBV(推定育種価)							体型のEBV					体細胞スコア	血統情報	管理形質			性判別精液
						M	F	F	SNF	SNF	PRO	PRO	体軟と骨格	肢蹄	乳用強健性	乳器	決定得点		父牛 × 母系祖父	産子雌産率	在群期間	泌乳持続性	
			(円)	(円)	(GNTP)	(kg)	(kg)	(%)	(kg)	(%)	(kg)	(%)											
1	*JP3H56556*	*モーニングビュー ブツケム ミミ ET*	150,543	150,543	3,218	1,444	65	0.08	139	0.11	56	0.09	-0.16	0.49	0.45	1.50	1.11	2.21	ブツケム × フレデイー	6	100	2.71	◎
2	*JP3H56732*	*グリーンハイツ コスモポリス ET*	83,401	146,843	3,214	1,364	71	0.17	134	0.12	58	0.14	0.76	0.41	1.33	1.73	1.61	2.00	モーグル × オブザーバー	6	100	1.80	◎
3	*JP3H56735*	*デスー MGL グリーングラス 0464 ET*	83,570	153,213	2,994	1,415	76	0.21	126	0.11	50	0.03	0.09	0.49	1.12	1.42	1.16	2.41	モーグル × アルタアイオタ	6	101	0.87	◎
4	JP3H55926	ウインザーマナー SW ナイアグラ ET	102,304	191,049	2,971	1,874	81	0.08	172	0.06	55	-0.04	0.49	-0.38	0.21	0.23	0.36	2.41	ナイアグラ × プラネット	7	102	0.33	◎
5	JP3H55953	レイバー ナイアグラ パリッシュ ET	87,097	133,796	2,791	1,183	59	0.16	128	0.25	51	0.14	0.49	0.12	0.48	1.37	0.91	1.90	ナイアグラ × ショウテル	9	101	1.32	◎
6	JP4H55951	テイーユー レデイスマナー ジョージア	65,296	126,555	2,683	1,190	62	0.16	112	0.06	50	0.12	0.46	0.94	0.76	0.99	1.02	2.42	ビーコン × アーニット	7	101	0.38	◎
7	*JP3H56580*	*テインカーベル タイムアウト ET*	124,641	73,833	2,682	480	50	0.33	80	0.35	41	0.28	0.18	0.73	0.34	1.52	1.16	1.63	ブツケム × フレデイー	6	102	0.36	◎
8	JP5H55552	サンワード スーパー エモーション ET	132,134	148,109	2,631	1,467	61	0.05	141	0.03	48	0.01	-0.08	0.54	0.54	0.81	0.67	1.71	スーパー × バクスター	6	103	1.98	◎
9	JP3H56191	カトム サンダーバード	64,663	115,839	2,562	1,008	65	0.27	104	0.13	44	0.11	1.72	0.85	1.25	1.13	1.49	2.37	スーダン × アレキサンダー	6	100	1.59	
10	JP5H56465	ミツキーデール アリー スーダン ET	68,847	91,896	2,553	670	94	0.70	50	-0.05	35	0.13	0.35	0.39	0.80	0.87	0.75	2.47	スーダン × ジョーズ	6	101	0.88	◎
11	JP4H56400	ベイリツチランド スーダン パウエル ET	86,013	97,908	2,429	813	72	0.40	70	0.04	36	0.10	1.54	0.30	1.33	0.98	1.29	2.24	スーダン × プラネット	7	102	0.49	
12	JP3H55839	テイーユー ナイト エクリプス ET	104,628	151,092	2,403	1,607	27	-0.34	162	0.17	51	0.01	0.38	0.24	0.26	1.07	0.91	1.45	ナイアグラ × マスコール	5	102	-0.84	◎
13	*JP3H57077*	*SMF スノー アンブロース ET*	51,264	91,783	2,393	784	47	0.17	87	0.19	43	0.17	0.78	0.39	1.38	1.74	1.62	2.13	マツカチエン × スノーマン	6	100	0.66	◎
14	JP4H56365	テイーユー フエイス フアツトボーイ	115,756	93,280	2,381	739	63	0.35	78	0.16	34	0.10	1.03	0.30	-0.20	0.92	0.96	2.13	スーダン × スーパー	6	103	1.17	
15	JP3H56430	メモリー チヤーム モーニング ET	93,119	125,621	2,364	1,227	53	0.08	108	0.03	40	0.00	0.10	1.16	0.25	0.82	0.74	1.57	ブツケム × スーパー	7	101	0.94	◎
16	*JP0H56736*	*ストレチア マツセイ マーシャル ET*	78,519	73,268	2,332	513	41	0.20	92	0.38	45	0.29	0.82	0.73	0.81	0.66	1.02	2.05	マツセイ × バーンズ	6	101	-0.66	
17	JP3H56258	レデイスマナー アドミレーション	76,264	117,041	2,322	1,153	57	0.13	99	-0.05	39	0.02	0.37	0.56	0.26	0.61	0.73	2.37	スーダン × エアレイド	6	101	0.35	
18	JP5H56250	クロケツト エーカース M エクザイル	42,981	154,242	2,291	1,586	58	-0.03	129	-0.02	54	0.02	0.88	0.10	0.72	-0.50	-0.05	2.11	スーダン × ドットソン	7	99	1.00	
19	JP5H56304	ゴールド N SW ジエラルド ET	60,399	112,082	2,215	1,028	52	0.13	105	0.13	38	0.05	0.53	0.27	1.14	1.01	1.00	1.89	ジエラード × ラモス	6	100	0.63	◎
20	JP3H55056	モーニングビュー SHTL ソクラテス ET	147,967	138,742	2,176	1,556	33	-0.25	127	-0.09	39	-0.10	0.67	1.12	0.46	1.15	1.26	1.49	ソクラテス × ショウテル	6	103	1.85	
21	JP3H56137	ケネカランド ベンナー ベル スカイ ET	87,838	132,913	2,174	1,474	30	-0.27	128	-0.02	44	-0.04	0.51	1.02	0.53	1.07	1.15	2.14	アルタアイオタ × ジェット ストリーム	6	101	0.26	
22	*JP5H56682*	*ブルームーン マシス ET*	71,448	94,946	2,160	852	48	0.17	90	0.10	40	0.13	0.12	0.47	0.74	1.30	1.26	1.72	マツセイ × バクスター	6	101	0.14	
23	*JP3H56757*	*サンワード STEP トロリッチ ET*	74,320	135,821	2,147	1,473	36	-0.21	113	-0.01	37	-0.11	0.32	0.51	0.74	1.36	1.12	1.49	ドロシー × ナイアグラ	6	101	1.16	◎
24	JP3H56115	ピュアソウル ロミオ バッジオ	48,789	86,368	2,145	702	31	0.04	95	0.39	46	0.23	0.21	0.52	0.34	0.75	0.60	2.62	ドーベルマン × プラネット	6	101	0.89	◎
25	JP5H55723	モンマ ブリスク ET	37,101	167,544	2,143	1,748	59	-0.05	135	-0.06	53	-0.02	-0.27	-0.78	-0.26	0.17	-0.35	2.88	プラネット × トイストーリー	6	100	2.71	◎
26	JP3H56376	デイヘロツプ キユートマン ET	62,511	110,354	2,134	1,174	33	-0.12	105	-0.01	38	-0.01	1.50	0.39	1.41	1.68	1.65	1.67	ブツケム × ショウト アル	7	101	1.40	◎
27	*JP5H56717*	*シーブランド オースタイル レーン ET*	104,073	95,533	2,118	1,002	31	-0.07	76	-0.01	39	0.07	0.29	0.62	-0.54	0.67	0.70	1.88	ジヤスト × スーパー	6	103	1.02	
28	*JP3H56880*	*JC ニコラス ケイシー*	74,899	131,234	2,114	1,335	54	0.01	112	-0.02	28	-0.16	0.57	0.71	1.11	1.46	1.33	2.23	モーグル × ジエラード	6	101	1.88	
29	JP3H56451	パインツリー ナツクル ボーイ	36,616	60,864	2,108	318	62	0.52	50	0.25	33	0.26	0.97	0.48	1.66	1.48	1.46	2.77	スーダン × ラウンドアップ	7	99	-0.38	
30	JP4H54859	モントラツプ ゴールデン ボルトン ET	51,401	30,497	2,063	-142	73	0.86	21	0.36	32	0.40	0.30	-0.21	0.25	0.39	0.28	2.57	ボルトン × ジヤステイス	6	101	0.08	

※新規牛は太字斜字で表記

【国内種雄牛の購買を希望される方は、毎月15日までに当組合まで注文願います】

乳用牛改良情報

兵庫県酪農農業協同組合
生産指導部　指導購買課
《2018-8》

【海外精液評価成績】

総合指数順（ＮＴＰ）

NTP順位	略号	種雄牛名号	長命連産効果 (円)	乳代効果 (円)	総合指数 (GNTP)	生産能力のEBV(推定育種価) M (kg)	F (kg)	F (%)	PRO (kg)	PRO (%)	体型のSBV(標準化育種化) 高さ	胸の幅	尻の角度	坐骨幅	乳房の懸垂	前乳頭の配置	後乳頭の配置	体細胞スコア	血統情報 父牛 × 母系祖父	管理形質 産子難産率	在群期間	泌乳持続性	性判別精液
1	0029H16714	ﾃﾞｽｰ 11236 ﾊﾞﾘｽﾄ ET	－	－	3,906	689	81	0.55	70	0.48	1.27	1.59	-1.66	1.79	-2.25	1.41	-2.05	1.50	ﾌﾞﾂｹﾑ × ﾜﾄｿﾝ	5	102	1.16	
1	0011H11478	ﾃﾞｽｰ ｱﾙﾀﾘｰﾌ ET	－	－	3,737	2,193	91	0.05	64	-0.06	2.15	1.25	0.26	2.24	0.52	1.21	1.51	1.88	ｱﾙﾀｵｰｸ × ﾄﾘｶﾞｰ				◎
1	0007H11621	S-S-I ｽﾉｰﾏﾝ ﾒｲﾌﾗﾜｰ ET	－	－	3,674	2,305	55	-0.30	77	0.02	2.17	0.94	0.15	1.08	-1.57	-2.46	-1.37	1.75	ｽﾉｰﾏﾝ × ｿｸﾗﾃｽ	4			◎
1	0007H12105	S-S-I ﾓｰｸﾞﾙ ﾘﾌﾚｸﾀｰ	－	－	3,618	1,491	56	-0.02	70	0.20	1.85	1.82	0.11	-0.18	-1.01	0.03	-1.79	1.80	ﾓｰｸﾞﾙ × ｽｰﾊﾟｰ				◎
1	0151H00690	ﾐｽﾀｰ ﾓｰｸﾞﾙ ﾃﾞﾝﾊﾞｰ 1426 ET	－	－	3,612	1,772	94	0.23	63	0.05	1.41	0.26	0.67	1.14	0.78	1.43	3.15	2.31	ﾓｰｸﾞﾙ × ﾛﾊﾞｽﾄ				◎
1	0001H11881	ｺｰﾌﾟ ﾌﾟﾘﾝｽﾄﾝ ET	－	－	3,568	2,092	86	0.04	66	-0.02	1.55	0.98	0.00	1.81	0.41	0.73	1.36	2.06	ｽｰﾊﾟｰｻｲｱｰ × ﾄﾞﾙﾁｴ				◎
1	0011H11493	ｸﾞﾚﾝﾃﾞｨｰﾍｲﾌﾞﾝ ｱﾙﾀﾎｯﾄﾛｯﾄﾞ	－	－	3,477	1,607	65	0.03	59	0.06	4.74	2.32	2.91	2.84	1.49	2.54	2.75	1.94	ｼﾞｴﾛｯﾄﾞ × ｱﾙﾀｱｲｵﾀ				◎
1	0029H17553	ﾕｯｶｰ ｽｰﾊﾟｰｻｲｱｰ ｼﾞｮｽｰﾊﾟｰ ET	－	－	3,462	2,193	71	-0.12	69	-0.02	1.64	2.04	-0.31	0.67	1.09	-0.28	1.42	2.01	ｽｰﾊﾟｰｻｲｱｰ × ﾋﾞｰｺﾝ	6			
1	0200H03910	ｺﾑｽﾀｰ ﾛｰﾄﾗｽﾄ	－	－	3,446	1,152	70	0.25	55	0.17	2.61	0.25	1.65	0.74	2.23	-0.95	-0.41	2.04	ｽｰﾀﾞﾝ × ｵｰﾏﾝ				◎
1	0007H12255	ｳｴﾙｶﾑ SS ﾋﾟｰﾀｰﾊﾟﾝ ET	－	－	3,392	1,661	89	0.23	63	0.09	0.92	1.23	-0.23	1.27	-0.40	1.57	1.84	2.19	ｽｰﾊﾟｰｻｲｱｰ × ﾌﾞﾂｹﾑ				
1	0029H16887	ﾃﾞｽｰ 11620 ﾆﾙﾊﾞｰﾅ ET	－	－	3,388	1,352	60	0.07	65	0.20	0.88	1.49	0.33	0.94	-1.25	1.34	0.28	2.00	ﾓｰｸﾞﾙ × ﾌﾟﾗﾈｯﾄ				◎
1	0029H16667	ﾃﾞｽｰ 11228 ﾄﾂﾌﾟｼｰ ET	－	－	3,363	1,113	72	0.28	59	0.22	1.04	2.08	-1.30	2.61	-1.11	0.33	-1.08	1.61	ﾌﾞﾂｹﾑ × ﾜﾄｿﾝ	4	101	0.96	◎
1	0151H00681	EDG ﾙﾋﾞｺﾝ ET	－	－	3,354	660	99	0.74	44	0.23	1.47	1.36	-1.38	1.72	-1.04	2.48	1.22	1.86	ﾓｰｸﾞﾙ × ﾛﾊﾞｽﾄ	7			◎
1	0566H01197	ｻﾝﾃﾞｲﾊﾞﾚｰ ｼﾞｬﾝﾌﾟ ｽﾀｰﾄ ET	－	－	3,347	1,896	79	0.05	61	0.00	2.50	2.09	-2.08	2.08	1.35	1.35	1.59	1.89	ﾏﾂｶﾁｴﾝ × ﾛﾊﾞｽﾄ				
1	0029H16909	ﾗｰｸﾚｽﾄ ｺﾏﾝﾀﾞｰ ET	－	－	3,344	1,065	71	0.29	54	0.19	2.56	1.51	-2.33	2.52	-3.12	0.98	-0.51	2.06	ﾓｰｸﾞﾙ × ｵﾌﾞｻﾞｰﾊﾞｰ	7	101	1.37	
1	0001H11096	MYR-ﾏｯﾄ ﾓｰｸﾞﾙ ﾌﾟﾗﾁﾅ	－	－	3,297	1,453	80	0.22	52	0.05	1.56	0.98	-0.26	0.98	-0.56	2.50	1.53	1.70	ﾓｰｸﾞﾙ × ｽｰﾊﾟｰ				
1	0007H11708	ﾃﾞｽｰ ﾙｰｷｰ 11057 ET	－	－	3,274	997	83	0.44	48	0.15	1.03	1.15	-0.82	1.88	0.57	1.97	1.27	1.30	ﾅｲｱｸﾞﾗ × ﾌﾟﾗﾈｯﾄ	6			◎
1	0007H12266	ｳｯﾄﾞｸﾚｽﾄ ﾓｰｸﾞﾙ ﾖﾀﾞｰ ET	－	－	3,250	970	93	0.54	46	0.15	0.66	0.11	1.45	0.15	-0.81	1.82	1.25	2.39	ﾓｰｸﾞﾙ × ﾌﾟﾗﾈｯﾄ	6	101	-0.29	◎
3	0200H06676	ﾚﾃﾞｨｽﾏﾅｰ ｵｸﾄｰﾊﾞｰﾌｪｽﾄ ET	－	－	3,170	1,517	78	0.18	48	-0.01	1.51	2.03	-0.25	1.66	-1.18	-0.59	-0.98	1.52	ｱﾙﾀｵｰｸ × ﾄﾞﾛｼｰ				◎
3	0007H11752	ﾛｲﾚｰﾝ ﾌﾞﾂｹﾑ ﾎﾞﾌﾞ 5170 ET	－	－	3,169	582	70	0.48	54	0.36	1.81	1.31	-0.80	3.36	-0.13	2.00	1.43	2.00	ﾌﾞﾂｹﾑ × ｼﾞｬｽﾃｨｽ				◎
3	0001H10598	ｺｰﾌﾟ ﾌﾞﾂｹﾑ ﾖｰｻﾞ ET	－	－	3,134	849	62	0.28	46	0.19	1.03	0.97	-3.04	0.12	-1.40	1.08	-1.53	1.22	ﾌﾞﾂｹﾑ × ﾎﾞﾘｳﾞｱｰ				
3	0001H11048	ｽﾌﾞﾙｰｽﾍﾌﾞﾝ ｽﾄｲﾂｸ ET	－	－	3,110	1,489	39	-0.18	60	0.11	0.16	0.03	-2.67	1.08	1.07	1.28	0.04	1.66	ｴﾋﾟｯｸ × ﾄﾘｶﾞｰ				
3	0007H12014	ﾃﾞｽｰ MG ﾀﾞﾋﾞﾝﾁ 11288 ET	－	－	3,109	648	65	0.40	49	0.28	1.34	1.15	-1.60	0.83	-0.94	2.23	0.86	1.84	ﾓｰｸﾞﾙ × ﾜﾄｿﾝ	5	102	1.99	◎
3	0001H11425	ｺｰﾌﾟ ﾃﾞｲ ﾂｲﾝｷｰ ET	－	－	3,101	2,017	67	-0.10	55	-0.09	1.75	0.32	0.23	0.12	1.59	1.67	1.88	1.80	ﾃﾞｲ × ﾌﾟﾗﾈｯﾄ				
3	0200H02792	ｻﾝﾃﾞｲﾊﾞﾚｰ ｻﾙｰﾝ ET	－	－	3,067	1,571	64	0.03	60	0.08	3.98	3.06	-1.94	4.38	0.74	1.77	2.54	2.31	ｱﾙﾀｱｲｵﾀ × ﾌﾟﾗﾈｯﾄ	6			
3	0534H00031	ﾋﾞｭｰﾎｰﾑ ﾊﾟﾜｰﾎﾞｰﾙ P ET	－	－	3,043	1,076	46	0.05	61	0.25	2.46	0.03	0.84	1.44	-0.60	0.94	0.51	2.33	ｱｰﾝﾊｰﾄ × ﾛﾊﾞｽﾄ				◎
3	0014H07418	ｲｰﾙﾄﾞﾝﾂｲｰﾄﾞ SSR ﾍﾞﾙｴｱｰ ET	－	－	3,031	811	74	0.43	45	0.19	1.71	1.13	-1.23	2.30	-0.27	1.74	1.77	2.27	ｽｰﾊﾟｰｻｲｱｰ × ﾌﾞﾂｹﾑ				
3	0200H10172	ｽﾉｰﾋﾞｽﾞ ﾁﾔﾈﾙ ET	－	－	2,997	1,370	64	0.10	43	-0.01	3.27	1.49	-0.68	0.93	0.74	2.10	0.42	1.92	ﾏﾂｶﾁｴﾝ × ｽﾉｰﾏﾝ				
3	0151H00698	ﾐｽﾀｰ ｺｲﾝﾄﾞﾗｺ 15006 ET	－	－	2,997	1,582	49	-0.11	57	0.05	1.41	-0.90	1.10	1.22	1.71	-0.03	2.15	1.73	ｷﾔﾂｼｺｲﾝ × ﾛﾊﾞｽﾄ				
4	0007H12195	ｼﾞﾏｰﾋﾞｭｰ ﾓｰｸﾞﾙ ﾊﾞﾄﾗｰ ET	－	－	2,987	1,477	53	-0.04	58	0.10	1.43	1.10	-0.88	0.32	-0.85	0.48	0.27	2.25	ﾓｰｸﾞﾙ × ﾌﾟﾗﾈｯﾄ				◎

【海外種雄牛の購買希望精液希望される方は、毎月15日までに当組合まで注文願います】

平成３０年８月６日

輸入粗飼料の情勢

全酪連大阪支所
酪農生産研究会

北米コンテナ船情勢

先月号でもお伝えした通り、７月に入って各船社は GRI（海上運賃一斉値上げ）や E-BAF（緊急燃料調整費）の導入を決行しています。このため、８月中の GRI はごく一部の船社からのみの通知となっています。しかしながら、航路や船腹の調整が進むにつれ、海上運賃の修復を図る動きは、今後より活発になると予想されています。

また、LA/LB（ロサンゼルス・ロングビーチ港）おいて、８月から導入される予定だったピアパス（港の周辺の混雑を緩和するため日中のみ搬出入時に課金する制度）の終日適用については、１０月以降に延期されました。

ビートパルプ

＜米国産＞

２０１８年産新穀の収穫は８月中旬から９月にかけて全米各地でスタートする見込みです。春先の低温の影響により作付けの遅れが見られましたが、その後の天候は回復しています。日本向け主産地のミネソタ州及びノースダコタ州では、当初予想よりも作付面積は減少していますが、生育期に適度な降雨もあり収量は概ね例年以上になる見込みです。収穫作業は８月中旬頃から開始される予定です。

新穀の価格は、米国内からの引き合いや世界的なビートパルプ相場が極めて堅調であることから、昨年に比べ大幅な上昇となる見込みです。

＜ヨーロッパ＞

ヨーロッパでは、極度の旱魃と高温の影響で小麦の主産地であるフランス、ドイツ、ロシア、ウクライナでは減産及び品質低下懸念が強く、小麦相場を強く支えています。ビートについても作柄への大きな影響が懸念されており、産地相場を下支えている状況です。

アルファルファ

ワシントン州

主産地コロンビアベースンでは７月下旬までに２番刈が全域で終了しており、南部では８月初旬頃から３番刈の収穫が開始される見込みです。

２番刈の作柄は降雨の被害がほとんどなく、日中も高温に至らず温暖な気候が続いたため、成分値の高い上級品が多く発生しているようです。１番刈では高成分の上級品が少なかったため、２番刈への需要が高まり、産地価格は１番刈と変わらず堅調に推移しています。また、２番刈では良品が多く発生したことから中～低級品の発生量が相対的に少なくなっており、これらの産地価格も堅調で中級品と上級品の価格差は例年よりも縮まっています。

１８年産ワシントン産２番刈アルファルファ　７月中旬撮影

オレゴン州

南部クラマスフォールズでは７月中旬に１番刈が終了し、現在２番刈の収穫が進行中です。１番刈の作柄は、収穫期に断続的な降雨があり、約６０-７０％の圃場が降雨の影響を受けています。さらには、降雨を避け適期を逃したため、刈り遅れ品も発生しており、米国内酪農家と輸出業者双方から発生量が少ない高成分の良品への需要が集中し、産地価格は高騰しています。

中部クリスマスバレーでも１番刈の収穫は終了しており、２番刈の収穫が開始されています。当地でもクラマスフォールズと同様に一部で降雨被害及び刈り遅れ品が発生しており、高成分・上級品は高値で取引されています。

１８年産オレゴン産１番刈アルファルファ　７月上旬撮影

ネバダ州／ユタ州

ネバダ州の１番刈は終了しており、現在は２番刈の収穫が進んでいます。１ 番刈の作柄については、ネバダ州全体で約１０～１５％ほどが降雨被害にあっており、それ以外についても降雨を逃れるため、刈り遅れ気味のものが多く発生しているようです。加えて、カリフォルニア州やアイダホ州向けの米国酪農家、および輸出業者からの引き合いが強く、積極的に買い付けられており、他産地と同様に価格は堅調に推移しています。

ユタ州の１番刈は５月中下旬に始まり、６月上中旬に終了しています。現在２番刈が終盤を迎えているところです。１番刈は降雨被害がほとんどなく、色目・葉付きは良好で、例年に比べ高成分の茎細品が多く発生しています。

１８年産ネバダ産２番刈　７月上旬撮影

１８年産ユタ産１番刈　７月上旬撮影

カリフォルニア州

南部インペリアルバレーでは４番刈が終盤を迎えており、早い圃場では５番刈が始まっています。現地の日中の気温は１００F（３８℃）を超える日が続いているため低成分のものが多く生産されています。一部発生している成分が高めの玉は、サウジアラビアなどが積極的に買い付け、低成分のものについても、安定的な米国内酪農家の引き合いがあり、総じて産地相場は堅調に推移しています。

カリフォルニア北部では２番刈の生産が終了しており、既に３番刈の収穫が始まっています。２番刈は例年に比べ、葉量が多く成分値が高い傾向のようです。このため州内の酪農家の引き合いが非常に強く、１番刈と同程度の価格で取引されています。作付面積も昨年より減少しており、価格上昇の要因となっています。

米国産チモシー

主産地のコロンビアベースンおよびエレンズバーグの１番刈は終了しており、早い

圃場では２番刈の作業が始まっています。１番刈は６月中旬の降雨の影響で４０～５０％程度が何らかの降雨被害を受けており、降雨被害を免れたものについては刈り遅れ気味の品質が多く、茶葉の混入も目立っています。加えて、収穫期に天候が例年よりも冷涼なことから、圃場での予乾時間が長くなり、その影響で全体的に変色やブリーチが多くなっています。

産地相場は、発生量が少ない上級品については昨年と同等レベルで推移しており、生産量が多い中～低級品については軟化傾向にあります。

カナダ産チモシー

南部レスブリッジ地区では、６月末から１番刈の収穫が始まりました。収穫期の天候が安定したことから７月下旬までに収穫作業は終了しています。冷涼な気候の影響を受け、昨年よりも収穫開始時期は遅れたものの、例年並みの期間で収穫を終えています。作柄については半数以上が上級品となっていますが、作柄が良かった昨年に比べ茶葉の混入はやや多めで品質は例年並みとなっているようです。

産地相場については、韓国からの引き合いが引き続き強いことに加え、米国産チモシーの１番刈の相場が高値のまま推移していることから、昨年の同時期に比べ強含みで推移しています。

中部クレモナ地区では７月下旬から収穫作業が始まっています。生育期に当たる５～６月の降水量が例年の半分程度であったことから、生育のペースは非常に遅く、生産量の低下が懸念されます。

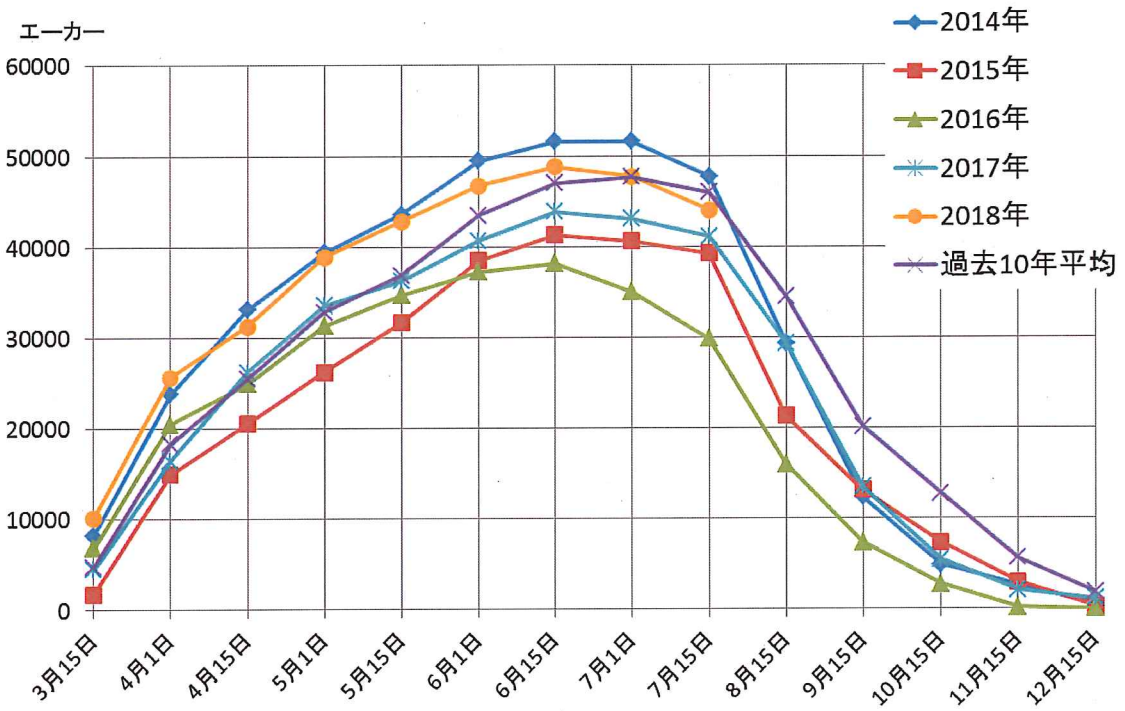
スーダングラス

７月 15 日付のインペリアルバレーにおける作付面積は前年同月比１０７％となっています。スーダン１番刈の収穫は遅播きも含めて終了し、２番刈の収穫も中盤を迎えています。

１番刈の作柄は、昨年に比べて茎サイズにバラツキがあり、茶葉も例年よりも目立つ、中～低級品の発生が中心となっています。茎細の上級品においても茶葉が混入しているものが多く、茶葉の少ないクリーンな上級品の発生は、例年に比べて少なくなっています。２番刈についてはこれまでのところ、１番刈に比べ茶葉の混入は少なく、見た目は良化しているようですが、スーダン相場が低迷していることから生産農家は単収を追っているため、今後は茎太品の発生が多くなる可能性が高くなっています。

産地相場については、茎細の上級品は色抜けの有無にかかわらず発生量が少ないことから、高値で取引されていますが、中～低級品については昨年に比べやや弱含みで推移しています。

18年産スーダングラス　茎細上級品　　7月下旬撮影



	3月15日	4月1日	4月15日	5月1日	5月15日	6月1日	6月15日	7月1日	7月15日	8月15日	9月15日	10月15日	11月15日	12月15日
2014年	8236	23795	33118	39364	43597	49495	51586	51594	47756	29337	12376	4879	2646	568
2015年	1752	14942	20561	26214	31644	38502	41260	40633	39247	21329	13150	7345	2998	278
2016年	6874	20497	24929	31326	34651	37268	38130	34990	29859	15979	7335	2784	174	18
2017年	4503	16465	26207	33563	36250	40668	43834	43096	41138	29354	13449	5443	2067	1128
2018年	10178	25621	31260	38881	42791	46694	48787	47747	44039					
過去10年平均	4780	18303	25498	32810	36859	43446	47007	47700	46005	34492	20158	12719	5625	1858

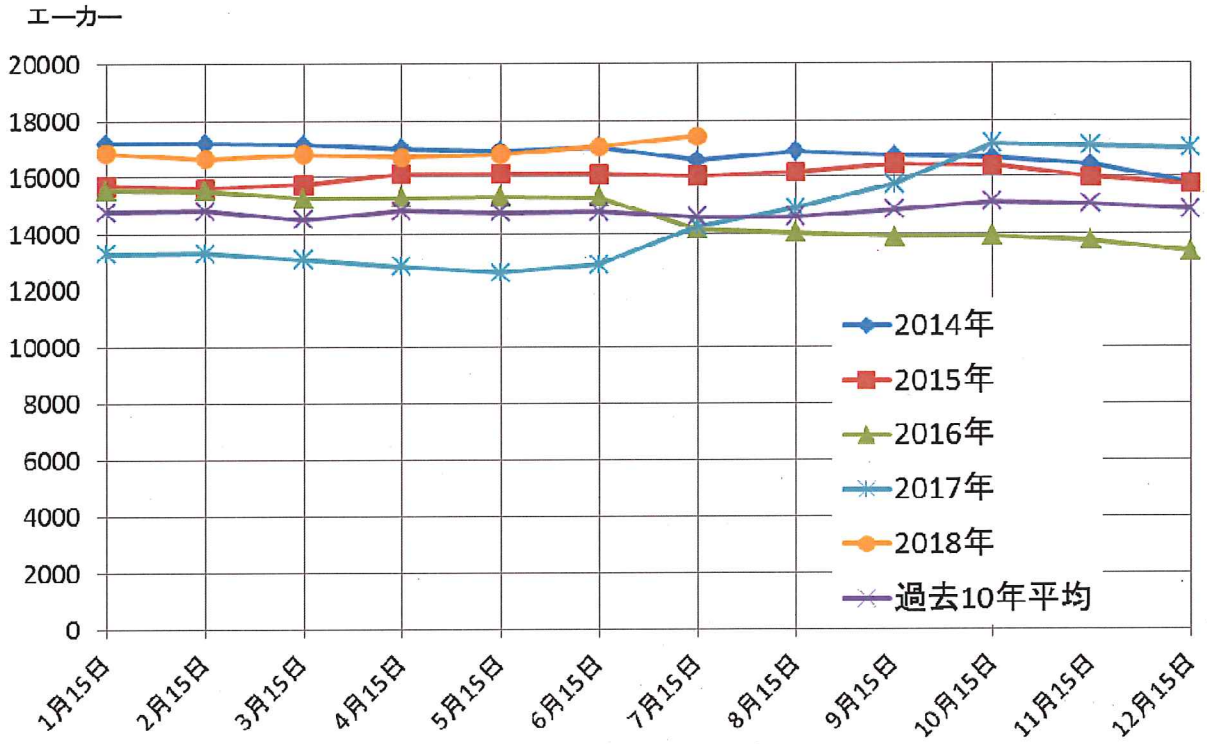
インペリアルバレー　スーダン作付面積（２０１８年7月１５日時点）単位：エーカー

クレイングラス（クレインは全酪連の登録商標です）

７月１５日付の作付面積は前年同月比１２２％となっています。現在、３番刈の収穫が進んでいますが、期間中、不安定な天候が予想されていたため、７～１０日ほど収穫時期を遅らせた圃場が多かったことから、刈り遅れ傾向になることが懸念されま

す。また６月以降、例年よりも湿度が高い状態が続いているため、２番刈は良品の発生が中心ではあるものの、緑目がやや薄くブリーチが入ったものが散見されています。

産地相場は、国から需要が鈍化することなく堅調であることから、昨年に比べ高値のままで推移している状況です。今後の相場は、引き続き韓国の需要動向に左右される展開と思われます。



	1月15日	2月15日	3月15日	4月15日	5月15日	6月15日	7月15日	8月15日	9月15日	10月15日	11月15日	12月15日
2014年	17192	17192	17140	17005	16930	17038	16578	16873	16745	16659	16413	15786
2015年	15691	15605	15724	16111	16111	16086	16026	16152	16430	16372	15974	15746
2016年	15526	15501	15234	15255	15295	15262	14142	14002	13871	13896	13739	13354
2017年	13276	13296	13092	12846	12614	12901	14255	14875	15722	17159	17088	16999
2018年	16832	16628	16796	16695	16794	17071	17429					
過去10年平均	14754	14803	14490	14800	14744	14768	14586	14570	14813	15101	15024	14835

インペリアルバレー　クレイングラス作付面積（２０１８年７月１５日時点）単位：エーカー

ストロー類（フェスキュー・ライグラス）

１８年産は、６月下旬からフェスキューストローやオーチャードストローなど一部のストロー類で収穫作業が始まり、その後、ペレニアルライグラスストローの収穫も開始されました。現在、ストロー類の収穫作業は順調に進んでおり、品質面では特に大きな問題は発生していないようです。

豪州産オーツヘイ

オーツヘイへの需要は日本のみならず中国、韓国および台湾から引き続き堅調で、

各サプライヤーとも出荷は順調に進んでいるようです。

東豪州および南豪州においては、旱魃の影響で豪州国内の畜産農家からの引き合いが強まっており、生産農家並びに各サプライヤーの余剰在庫のうち低級品を中心に相当量が豪州国内へ流れたと言われています。このため、低級品の産地相場は高騰しています。上～中級品については、今のところ大きな変動要因はなさそうです。

西豪州は播種時期から５月下旬まで降雨が少ない状況でしたが、それ以降はコンスタントに降雨があり、直近では例年以上の降水量が記録されています。このため、生育も順調に進んでおり、現在のまま順調に生育が進めば例年並みかそれ以上の収量が期待されます。東豪州および南豪州においては、播種時期の降雨は十分であったものの、その後旱魃状態が続いていることから生育にも影響が出ており、今後の天候次第ではあるものの、生産量は例年以下になると予想されています。

以　上

講習会のご案内

酪農基盤が大きく減少する中で、初妊牛価格は高値で推移しており、都府県酪農において後継搾乳牛の確保や搾乳牛の生産寿命延長が酪農経営を左右する重要なポイントとなっています。そのような情勢の中で、ＧＥＮＥＸ精液を製造している米国ＣＲＩ社は酪農家の経済性を重視する独自の指数（ＩＣＣインデックス）に基づいた種雄牛改良を行っており、米国酪農家にとって乳牛精液を選ぶ際の大きな指標の一つとなっていることから、今回、ＣＲＩ社から講師を迎え、ＩＣＣインデックスの考え方および本国での活用方法について研修を行います。

１．開催日時　平成３０年９月１０日（月）１１：００～１４：３０
２．開催場所　神戸市西区伊川谷町潤和１０５８番地
　　西神文化センター　２０１会議室
３．プログラム
　講　　演　　１１：００～１４：３０
　内　　容　　（１）都府県酪農情勢
　　（２）ＩＣＣインデックスが酪農経営にもたらす経済効果
　　（３）乳牛ゲノミック評価の取り組み

　講　　師　　（１）ハミッド・ルタロ氏（米国ＣＲＩ社海外事業部営業マネージャー、獣医師）
　　※ウガンダ共和国出身で実家は酪農家。米国カンザス州立大学を卒業後、ＣＲＩ社グループの牛群検定組合であるAgSource社で牛群検定や人工授精の指導、酪農家との検討会などを行ってきた。
　　（２）内田江一郎氏（全農畜産サービス㈱　取締役　海外事業部長）

４．参集範囲　兵庫県内酪農家
５．主　　催　兵庫県酪農農業協同組合・神戸地域ホルスタイン改良同志会

６．参加申込（申込期限：平成３０年９月３日（月）

地域名・所属	氏　名	備　考

※当日はお食事（弁当）の用意をさせて頂きますので、申込み忘れの無いようご注意をお願い致します。

問合せ・申込先
兵庫県酪農農業協同組合 生産指導部
TEL 078-976-5011 FAX 078-976-5012